



市町村立図書館等活動支援誌

あけぼのつうしん

No.40

2012年3月8日発行

内 容

- 平成23年度市町村活動支援事業から
- 道内図書館(室)トピックス
- お役立ち情報

北海道立図書館

〔目 次〕

■ 市町村活動支援事業から

【運営相談】	2
＊比布町図書館	
＊東神楽町メモリアルホール	
＊豊富町民センター図書室	
【図書館フェスティバル】	3
＊壮瞥町地域交流センター図書室	
＊南富良野町公民館図書室	
【子ども読書活動支援（子ども読書相談）】	3
＊新得町図書館	
＊浦幌町立図書館	
【子ども読書活動支援（学校ブックフェスティバル）】	4
＊芦別市	
＊新得町	
【子ども読書活動支援（学校図書館環境改善事業）】	5
＊中札内村	

■ 道内図書館（室）トピックス

- ① 町の新聞記事の見出しをデータベース化（奈井江町）
- ② 郷土資料（チラシ・写真等）のデータベース化（深川市）
- ③ 地元の大学と相互協力に関する協定を結ぶ（滝川市）
- ④ 図書館の利用案内リーフレットが「道の駅」に（浦幌町）
- ⑤ 電子書籍体験コーナーを設置（恵庭市）
- ⑥ 図書室の司書を正職員で配置（壮瞥町）
- ⑦ 素敵な看板、発見（根室市）
- ⑧ 就学前の乳幼児に絵本をプレゼント（当麻町）
- ⑨ 西いぶり広域図書館情報システム稼働（室蘭市、登別市、伊達市）
- ⑩ 成長するホームページ（幕別町）

■ お役立ち情報

- ① 道教委、「子どもの読書活動推進プログラム」を策定
- ② もう読んだ？『みんなでつくろう学校図書館』

■平成23年度市町村活動支援事業から

6月に当館の組織機構の改編により、市町村活動支援事業も市町村支援課から企画支援課に引き継ぎ、年度当初の計画どおり実施しました。

事業のいくつかをピックアップしてご紹介します。

【運営相談】

* 比布町図書館 平成23年4月27日(水)実施

今年度、新卒の司書(嘱託職員)が配置されました。そこで、図書館業務全般について、次の3つの項目立て、講義・情報提供を行いました。

1 図書館の基礎知識

図書館法、学校図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律、公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準、図書館の自由に関する宣言、図書館員の倫理綱領、公立図書館の任務と目標、ユネスコ公共図書館宣言、「ランガナタンの図書館学の五法則」について、重要なポイントを解説しながら公共図書館の運営や業務について理解を深めました。

2 サービスと接遇

「レファレンスサービスの姿勢」を中心に、次の内容で講義を行いました。

- (1) 図書館サービスは接客から
- (2) 調査の実際
- (3) 地域資料の可能性
- (4) レファレンス事例から考える
- (5) 著作権の基本 ほか



比布町図書館 AV ブース

3 利用向上に向けて

次の項目により助言しました。

- (1) 利用向上のための工夫
- (2) 学校との連携
- (3) 配架の工夫
- (4) 図書館ポータル(北海道立図書館HP)を使いこなす

* 東神楽町メモリアルホール 平成23年5月24日(火)実施

午前中は図書館資料の除籍と地域資料の収集と整理・保存について講義を行い、午後からは修理製本の講座を開催しました。

除籍については、その考え方を説明し、道内図書館の除架・除籍基準を紹介しました。

地域資料については、公共図書館における収集の根拠を示し、収集方針・選定基準の策定を勧めました。さらに当館北方資料の収集・整理と分類について紹介し、理解を深めました。

修理製本講座では、本を修理する上での考え方を示し、かがり綴じと無線とじの実習を行いました。



*** 豊富町民センター図書室** 平成23年7月20日(水)実施

新施設(保健センター、介護福祉サービス、多世代交流の3つの機能を有する複合交流施設)が、平成25年度に完成、その中に図書館機能を備えたスペースを設置する予定です。新しい図書館施設の設計、開館までのポイントについて助言しました。道内町村施設の事例も紹介し理解を深めました。

【図書館フェスティバル】

*** 壮瞥町地域交流センター図書室** 平成23年7月24日(日)実施

北海道立洞爺自然の家共催事業「読書の森～第1章～」のプログラムとしても組まれた「第4回壮瞥町図書館フェスティバル」で、「子どもの頃にタイムスリップ展」の展示を協力しました。絵本講談社昔話シリーズ(昭和30年代発行)と昭和30～40年代に発行された漫画雑誌を並べました。



ホールでは、ボランティア団体による読み聞かせや、中学校吹奏楽部の演奏会、おたのしみ劇場ガウチョスの人形劇等、多彩な催しがあり、エントランスには「昔遊びコーナー」がつくられ、多くの子どもたちで賑わいました。

*** 南富良野町公民館図書室** 平成23年10月2日(日)実施

町教委と子育て支援ボランティアサークルWISHによる「子ども絵本まつり」を開催しました。

今回は「森」をテーマとして会場が設営され、当館からは、大型絵本、しかけ絵本と森・動物・虫などに関する絵本を564冊貸出し、展示しました。



また、「森が教えてくれたこと」と題した写真家小寺卓矢氏の講演会では、著作『だって春だもん』、『森のいのち』(共にアリス館発行)で使用した写真をスライドで映写しながら、読み聞かせも行われました。

午後は、小学生による絵本の読み聞かせが行われました。

【子ども読書活動支援(子ども読書相談)】

*** 新得町図書館** 平成23年6月16日(木)実施

新得町学校図書館担当者会議に出席し、「児童・生徒の心をつかむ学校図書館へ」と題し、情報提供を行いました。内容は、子どもの読書活動の推進に関する法律と子どもの読書活動推進計画の策定について説明し、学校図書館の環境改善の考え方と道内学校図書館の工夫事例を紹介しました。

当町の担当者会議は、年1回開催され、町内の小・中・高等学校の担当教職員、教育委員会(社会教育課、学校教育課)職員、図書館職員による協議と情報交換がなされています。

*** 浦幌町立図書館** 平成23年6月16日(木)実施

子どもの読書活動推進計画の策定について、次の内容で助言しました。

- 1 子どもの読書のいま
- 2 子どもの読書活動推進のあゆみ
- 3 「子どもの読書活動の推進に関する法律」以降の動き
- 4 「子どもの読書活動の推進に関する法律」
- 5 子どもの読書活動推進計画の策定
- 6 道内市町村の「子どもの読書活動推進計画」(白老町、富良野市、苫前町の事例)
- 7 北海道内の子どもの読書活動推進計画の策定状況

また、子どもたちや住民に対するアンケート調査の事例について、北竜町、美唄市、知内町、白糠町、白老町、新十津川町、苫前町の情報を提供しました。

【子ども読書活動支援（学校ブックフェスティバル）】

*** 芦別市** 平成23年7月21日(木)実施

芦別市立上芦別小学校で開催しました。

当館から事前に送付した1,300冊の本の中から、全校児童132名がお気に入りの本を選びました。全体で560冊の本が貸し出されました。

おはなし会は、芦別市立図書館の司書が行い、おはなしの小道具セット『林の中から』『わらびき屋根の家』（藤田浩子著 一声社）を使ったお話しと、大型絵本『花さき山』（斎藤隆介作 滝平二郎絵 岩崎書店）の読み聞かせを行いました。

運営は、市立図書館職員、学校教職員、図書館協議会委員、ボランティアが協力して行い、スムーズに進行しました。



*** 新得町** 平成23年11月15日(火)実施

開催した新得町立富村牛小中学校は、児童生徒数10名の小さな学校です。

おはなし会は、全国のイベントで活躍されているブックドクターあきひろ氏が、「今、持っている感受性を大人になっても大事に持っている」と、関西弁の熱意のこもった語り口で講演され、その後で『しげちゃん』（室井滋作 長谷川義史絵 金の星社）の読み聞かせを行いました。

運営は町図書館職員、学校教職員、図書館ボランティア「スキップ」で行い、後片付けは子どもたちも手伝いました。

子ども1人の貸出冊数を無制限としたので、214冊の本が貸し出されました。



【子ども読書活動支援（学校図書館環境改善事業）】

* 中札内村 平成23年11月14日(月)実施

中札内村立中札内小学校（児童数191名）、中札内村立中札内中学校（生徒数114名）を対象に学校図書館環境事業を行いました。

学校図書館の環境改善について、蔵書構成の視点から、「学校図書館図書標準」、「学校図書館メディア基準」、「学校図書館図書廃棄規準」の解説を含めお話ししました。

配架、サイン（案内表示）、レイアウト、ディスプレイを改善するポイントと道内の学校図書館の事例を紹介し、児童生徒の心をつかむ魅力的な学校図書館への環境改善の必要性を話しました。

最後に、各々の学校図書館の改善すべき点を具体的に指摘し改善を勧めました。

参加者：中札内小学校（校長、教頭、担当教諭）

中札内中学校（教頭、担当教諭2名）

中札内村図書館（司書2名）、中札内村教育委員会（主事）

■道内図書館（室）トピックス

① 町の新聞記事の見出しをデータベース化（奈井江町）

奈井江町図書館では、昭和56年7月以降の町関係の新聞記事をスクラップブックにまとめています。図書館と教育委員会で購入している北海道新聞、報知新聞、北海タイムス（現在、廃刊）、朝日新聞、日本経済新聞、プレス空知（平成以降）を対象としていますが、これらの記事の見出しをデータベース化に取り組みました。

データは見出しのほか、件名と内容（記事の概要、スクラップブックの巻名、該当ページ）を入力しています。業務用端末による検索が可能で、奈井江町に関する調べものに役立てています。

② 郷土資料(チラシ・写真等)のデータベース化（深川市）

深川市立図書館では、郷土資料として収集した写真（市史・市広報関係）、チラシ、地図、パンフレット類1, 800点余りをデジタル化しデータベースを構築しました。

データはタイトル・形態・出版者・発行年等、詳細に作られています。

今後の利用が期待されます。

③ 地元の大学と相互協力に関する協定を結ぶ（滝川市）

昨年11月に市役所庁舎2階に移転オープンした滝川市立図書館が、この度、國學院大学北海道短期大学部図書館と相互協力に関する協定を締結しました。

この協定により、短大図書館の本を市立図書館の窓口で借りることができます。

短大図書館の蔵書検索は、市立図書館のホームページ「本の検索・予約」からリンクしています。

④ 図書館の利用案内リーフレットが「道の駅」に（浦幌町）

浦幌町の道の駅「うらほろ」の情報提供コーナーには、浦幌町や近隣市町村の観光パンフレットと共に、浦幌町立図書館のリーフレットが置かれています。館長さんの発案だそうです。積極的な図書館PRですね。



⑤ 電子書籍体験コーナーを設置（恵庭市）

恵庭市立図書館では、電子書籍等の普及啓発のために、iPad 2によるデモンストレーションを行っています。カウンターに設置された2台のタブレットPCで操作体験ができます。

現在は、「広報えにわ」（バックナンバーを含む）と電子書籍のサンプルが閲覧できます。



⑥ 図書室の司書を正職員で配置（壮瞥町）

壮瞥町地域交流センター図書室では、昨年度まで嘱託職員として司書を配置していましたが、今年度から町の正職員として司書を採用しました。

図書室は、平成21年竣工の役場庁舎との複合施設です。テーマ展示や地域情報の発信等に積極的に取り組み、ボランティア団体とも密接なつながりを持ちながら、活発に運営されています。

⑦ 素敵な看板、発見（根室市）

根室市図書館の敷地内には、「いい街づくり 役立つ図書館」「図書館はみなさんの本棚です」と記された大きな看板が設置されています。現在の図書館は、平成6年の開館ですが、この看板も開館時に設置されました。

『これからの図書館像』（2006）では、「地域や住民にとって役立つ図書館として存在意義を確立する」ことが示されましたが、根室市の図書館は、市民暮らしに根ざした図書館を開館時から意識していました。正に一歩先行く図書館運営です。



⑧ 就学前の乳幼児に絵本をプレゼント（当麻町）

当麻町立図書館では、「子育て支援図書贈呈事業」として、就学前（1～6歳まで）の乳幼児を対象として、絵本2冊を当麻町産のバラ5本を添えて誕生日にプレゼントしています。子どものすこやかなる成長と絵本の読み聞かせを通じた親子のふれあいを願って企画されたもので、図書館のホームページに、贈呈する絵本のリストが年齢ごとに掲載されています。

⑨ 西いぶり広域図書館情報システム稼働（室蘭市、登別市、伊達市）

室蘭市、登別市、伊達市の図書館の蔵書をインターネットで一括して検索できるシステムが稼働したことにもともない、3市に居住、通勤、通学されている方を対象に、3市の図書館が所蔵する資料を共通の利用者カードで借りることができるサービスが始まりました。利用者登録を行うと、3市の図書館のどこでも貸出・返却ができます。

※「西いぶり広域図書館情報システム」 <http://lib.nishi-iburi.jp/>

⑩ 成長するホームページ（幕別町）

幕別町図書館のホームページが昨年9月にリニューアルされ、その後も成長を続けています。きっかけは、昨年度から就かれた館長さんが様々な図書館のホームページを調べ上げ、自らリニューアルを手がけたことに始まります。

ビジュアルでユニークなコンテンツが豊富なホームページを是非ご覧ください。



■ お役立ち情報

① 道教委、「子どもの読書活動推進プログラム」を策定

平成25年度からの次期「北海道子どもの読書活動推進計画」の実施につなげていくことを目指し、道教委の取組を掲載するとともに、市町村教育委員会や学校・家庭・地域における子どもの読書活動の取組事例を多数掲載しています。

市町村教育委員会や学校において、活用できるプログラムを豊富に紹介していますので、是非参考にしてください。

※北海道子どもの読書活動推進ホームページ

<http://www.dokvoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/sgg/move/dokusvo/dokusvoindex.htm>



② もう読んだ？『みんなでつくろう学校図書館』

北海道札幌南高等学校の図書館で学校司書を担当されている成田康子氏の本が岩波書店から出版されました。

語りかける文章で、生徒と共に活発な図書館を運営してきた実践が紹介されています。魅力的な学校図書館にするための多くのアイデアだけでなく、学校図書館を理解するためのポイントがさりげなく盛り込まれています。

みんなでつくろう学校図書館 成田康子著 岩波書店 2012.1
(岩波ジュニア新書 703) ISBN978-4-00-500703-5



みなさんの図書館（室）の活動の情報をお寄せください！
最近始めた取組や好評だった事業など、
随時受付けています。

あけぼのつうしん No.40

発行日 平成24年3月8日

編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町 41 番地

TEL 011-386-8521 FAX 011-388-2063(総務企画部)

ホームページアドレス <http://www.library.pref.hokkaido.jp/>